

精密工学専攻
特別セミナー
履修要領

2016年度

受講者は、本要領の定める、履修資格、提出物、提出と発表の時期、提出物等の量と質、を十分に理解すること。

本特別セミナーは精密工学専攻必修科目である。本専攻修了のために履修、及第が必要である。

記

1. 概要

修士論文、博士論文の中間審査として位置づけられ、それまでの研究成果を発表し、複数教員による審査を受ける。なお、修士論文、博士論文のテーマが確定していない場合は、それまでの研究成果を発表、報告することができる。

各課程への取り組み、一年間の意欲的な研究の結果を示す充実した内容であることが求められる。

報告書に加え、ポスター発表と口頭諮問等からなる審査を行う。本審査は、修士課程、もしくは博士課程の中間審査として、極めて重要である。

2. 受講資格

特別セミナーM 修士課程所属の大学院生

特別セミナーD 博士課程所属の大学院生

いずれの特別セミナーも、履修開始時（進学時）から8ヶ月～9ヶ月後に実施される審査（提出物の提出と発表、以下項目4、項目5）を受けること。やむを得ない理由で所定の時期に審査を受けられない場合、審査の一ヶ月前に指導教員を通じて申し出ること。不測の事態で審査を受けられない場合、指導教員に相談すること。

3.登録時期

4月と10月に各人の履修登録を要する。

4. 提出物（別表1参照）

指定された時期に報告書を提出すること。分量はA4用紙数ページ。
研究題目、氏名、学年、学籍番号、指導教員名を冒頭に明記すること。

特別セミナーの報告書は、修士論文、博士論文の中間報告として位置づけられ、それまでの研究成果を報告する。なお、修士論文、博士論文のテーマが確定していない場合もそれまでの研究成果を報告することができる。
各課程への取り組み、一年間の意欲的な研究の結果を示す充実した内容であることを要する。

5. 発表（別表1参照）

所定の時期にポスターセッションに参加し、発表を行うこと。
発表を行う審査日においては、所定の場所に集合し、指示に従うこと。時間厳守のこと。遅刻、無断退出は成績評価に加味されるので十分に気をつけること。
発表の前に報告書を提出する。ポスターセッションにおいては、複数の教員に諮問される。研究実施内容、ポスター、研究成果、該当分野の理解、研究業績が評価される。

ポスターは、A1程度の大きさの掲示板に収まるように用意すること。

[重要] (別表1)

提出書類, 提出期間および提出先
(2015年10月/2016年4月履修開始者)

以下の提出と発表を要する。各人履修登録をすること。

科目	履修開始時期	提出物	提出時期/発表日	提出先
精密工学特別セミナー M, D	2015年10月	報告書	2016年6月末日まで	精密工学専攻事務室
		ポスター発表と口頭審査	2016年7月 (開催日、時間は掲示参照) 集合時間厳守	工学部14号館 3階325号室
精密工学特別セミナー M, D	2016年4月	報告書	2016年12月22日	精密工学専攻事務室
		ポスター発表と口頭審査	2017年1月 (開催日、時間は掲示参照) 集合時間厳守	工学部14号館 3階325号室
精密工学特別セミナー M, D	2016年10月	報告書	2017年6月末日まで	精密工学専攻事務室
		ポスター発表と口頭審査	2017年7月予定 (開催日、時間は掲示参照) 集合時間厳守	工学部14号館

注意:

期間外の提出物は受理しない。

発表の遅刻は減点の対象となる。発表審査の約1月前に日時場所が掲示される。

各報告書、ポスター発表に求められる内容については履修要領本文に定める。なお、通年の履修のため、相当する量と質が求められる。

以上